

平成28年 2月26日
国 土 交 通 省
三 陸 国 道 事 務 所
岩 手 県 釜 石 市

仮設津波避難階段を使用した避難訓練の実施

～ あの日から5年、津波時における安全で迅速な避難の検証 ～

三陸国道事務所では、東日本大震災津波被災の経験を踏まえ、津波災害時に迅速かつ安全に避難出来るように、岩手県内の国道45号及び三陸沿岸道路の法面等に津波避難階段の整備を進めております。

この度、釜石市および地域住民の方々からの津波避難階段設置要望を受け、国道45号（平田地区）において、津波避難階段の有用性に関する検討のため、仮設津波避難階段を設置し、津波避難訓練および避難階段の利用方法等について住民の方々との意見交換会を行います。

●日時：平成28年月3日6日(日) 10:00 ※雨天決行

避難訓練：10:00～

意見交換会：11:00～ ※避難訓練終了次第

●場所：避難訓練：釜石市大字平田第5地割

・・・別紙－1

意見交換会：釜石市大字平田（平田仮設団地談話室）

発表記者会：東北専門記者会、岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ各社

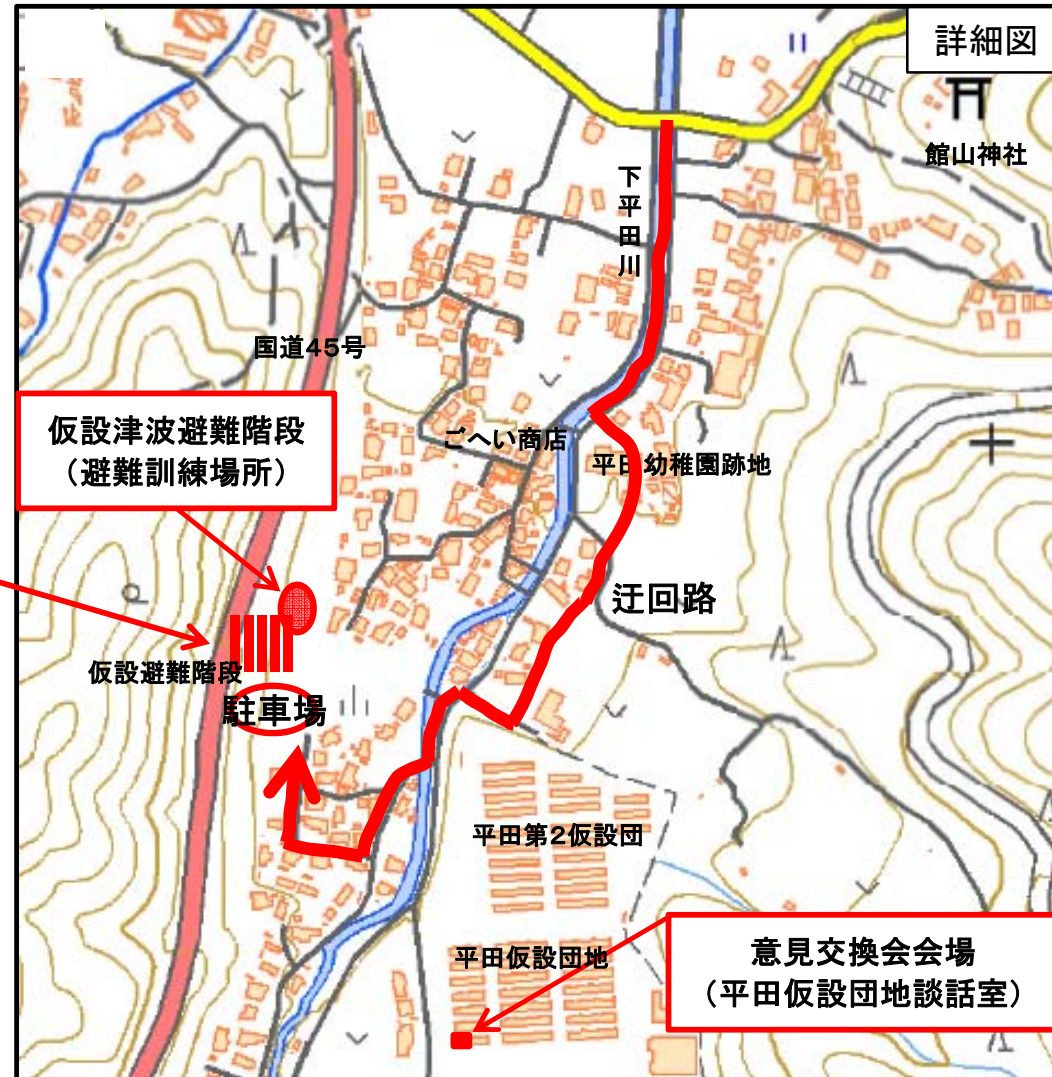
〈問い合わせ先〉

国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

釜石維持出張所長 よしだ 吉田 みつひろ 光潤 TEL 0193-26-5014

釜石市役所

防災危機管理課長 ささき 佐々木 とおる 亨 TEL 0193-22-2111



釜石市平田地区における避難訓練実施について

○現在、釜石市平田地区住民(約100人)が、津波発生時に高台の避難場所に避難するためには、浸水エリアを通らなければならない状況。



■東日本大震災発生時

○国道45号の法面下に集まった住民のうち体力のある何人かは、法面をよじ登って国道45号の歩道まで避難。

○旧釜石商業高校方面へ避難しようと人道橋を渡ろうとした住人は、下平田川を遡上してきた津波の勢いを見て橋を渡るのを躊躇。

住民から避難階段設置の強い要望

仮設階段の訓練で有用性と課題を検証

○避難訓練参加住民の意見を参考に本設避難階段の整備について検討する機会とする事を目的に訓練を実施

安全の確保

- ・階段の設置位置や経路など
- ・幅や勾配、手すりの設置など

整備後の運用方法

- ・階段や経路の管理
- ・通常時の運用方法
- ・継続的な訓練の実施や方法
- ・地域防災計画への反映

○3月6日 訓練を実施

10:00～

現地で地元の皆さんが仮設階段を用いた避難訓練を実施

11:00～

訓練終了後、参加者と釜石市、三陸国道事務所で課題等に関する意見交換会を実施

三陸国道管内の避難階段整備および活用の状況(参考資料)

■津波避難階段の整備状況

○国道45号(3箇所)

- ①陸前高田地区:2箇所(H25. 3月完成)
- ②小本地区:1箇所(H21. 3月完成)

○三沿道(6箇所)

- ①釜石山田道路:1箇所(H27. 3月完成)
- ②山田道路:2箇所(H25. 3月完成)
- ③普代道路:1箇所(H25. 10月完成)
- ④久慈道路:2箇所(H25. 3月完成)

※上記箇所、適宜、避難訓練を実施



普代道路での避難訓練
(H25. 5月開催 参加者:約111名)

【小学生の感想】

- ①自分の命は自分で守らなければと思った
- ②これからも地震や津波に備える訓練に真剣に取り組んでいきたい



陸前高田地区での説明会の状況
(H25. 3月開催、参加者約 10名)



釜石山田道路での説明会の状況
(H27. 7月開催、参加者:約80名)